

部門名	建築コンサルタント業務
案件名	松江市総合文化センター大規模改修工事実施設計業務委託
工期（始）	令和3年6月11日
工期（終）	令和4年3月15日
場所	西津田六丁目
事業者名	矢野・小草設計共同企業体
代表者名	代表取締役 矢野 敏明／代表取締役 小草 伸春
技術者役職	管理技術者
技術者名	原 一三（矢野建築設計事務所）
工事概要	築後35年が経過し老朽化が進んでいる施設における特定天井の耐震改修や防水・内外装改修及び設備の更新などを目的として行う大規模改修工事に係る実施設計業務
表彰理由	本業務は、平成29年度に行った「調査及び基本設計業務」並びに翌30年度に追加で行った「アドバイザー会議開催支援業務」によって示された内容を基にして行う大規模改修工事の実実施設計業務である。本業務は特定天井の耐震改修や音響性能に関する専門知識を特に要する業務であり、設計の難易度や専門性も高く、高度な質と知識を要するものであったが、有識者による意見の反映や音響に関する実験を行うなど、業務に対する熱意や工夫が感じられた。また、所管課を交えた綿密な打ち合わせも定期的に行い、会議資料や成果品が分かりやすく簡潔に整理されていた。業務工程の管理も適切に行われ、全体として優良な業務であった。

本業務の表彰技術者である、矢野建築事務所有限会社の監理技術者（当時）原一三氏は受賞の感想を、「当社、小草建築設計事務所の設計共同体が一生懸命取り組んできました業務が、このように評価して頂いたこと誠にうれしく感じております。また、松江市のご担当者、関係者の方々から、ご指導、貴重なご意見をいただきながら進めていくことを心より感謝申し上げます。」（原氏）、「当企業体の業務をご評価頂き、光栄です。」（青山氏）と話す。



本業務で苦勞したことは、「松江市民の方々が30年間利用され親しみのあるこの施設を、リニューアルしても変わらず、もっと愛される建物になるように心掛けました。」（原氏）、「心掛けたことは全国でも数少ないパイプオルガンを有する公共音楽ホールの大規模改修工事ということで、大ホールの内装を可能な限り残しながら天井の耐震改修を行うこと、それから優れた音環境の現状維持を図ることを設計理

念とし、詳細な検討・検証を積み重ねて設計をしていることです。」(青山氏)と語る。

仕事における今後の目標は、「より多くの方々に喜んで頂ける建築を設計することです。」(原氏)、「今までの知識や経験を活かしながら、先進性や独創性を持って業務に取り組むことです。」(青山氏)、やりがいについては、「建築設計は、建物を造るだけでなく、街の景観や防災、日々の暮らしに深く関わることができる仕事だと思います。」(原氏)、「思い描くイメージが図面という紙媒体から具現化され、夢を与えることが出来ることです。」(青山氏)と話す。

これから建設業界を目指す人へは、「建設業界は日々進歩し続けていますので、興味のある方はやりがいのある仕事だと感じています。」(原氏)、「夢や想いを持って是非、建設業界へ飛び込んで欲しいです。」(青山氏)とメッセージを送った。

最後に、それぞれの会社について紹介してもらいました。「若い建築士が多くいる事務所で、多岐にわたり設計活動をしています。」(矢野建築設計事務所(有))、「様々なリクエストにもお答えすること。また、その実践が出来る経験豊富な技術スタッフを有していることです。」(株)小草建築設計事務所)



矢野建築設計事務所 有限会社
(写真右) 代表取締役 矢野氏
(写真左) 管理技術者 原氏



株式会社 小草建築設計事務所
代表取締役 小草氏